

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年10月14日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレートスタイルデザイン本部長 星 正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期 連結累計期間	第50期 第2四半期 連結累計期間	第49期
会計期間	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	自平成26年3月1日 至平成26年8月31日	自平成25年3月1日 至平成26年2月28日
売上高 (百万円)	20,204	18,331	40,726
経常利益又は経常損失 () (百万円)	156	150	103
四半期純利益又は四半期(当期)純損失 () (百万円)	69	201	35
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	140	181	121
純資産額 (百万円)	26,575	26,325	26,556
総資産額 (百万円)	40,850	39,922	40,794
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額 () (円)	7.08	20.41	3.55
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.1	65.9	65.1
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	596	191	260
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,226	868	1,742
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	151	65	162
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	16,652	15,839	16,556

回次	第49期 第2四半期 連結会計期間	第50期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日	自平成26年6月1日 至平成26年8月31日
1株当たり四半期純損失金額 () (円)	4.32	10.60

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第49期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第49期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第50期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社の連結子会社である芬理希夢(北京)商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司は平成26年7月17日に解散・清算することを決議し、現在清算手続中であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）におけるわが国の経済は、消費税増税の駆け込み需要の反動により弱さは残るものの、次第にその影響が薄れ各種政策の効果が発現するなかで緩やかに回復していくことが期待されています。しかしながら、海外景気の下振れが、わが国の景気を引き下げるリスクとなっております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、顧客数の拡大と継続的関係性の構築に積極的に取り組んでまいりました。新規顧客との接点拡大を目的とする「FELISSIMO pick up shop（フェリシモピックアップショップ）」サイトの開設や、「Felissimo Circus（フェリシモサーカス）」等の店舗の開設、他社ECサイトへの出店等を行なってまいりました。また、ダイレクトメールの方式変換などにより休止顧客の呼び戻しを強化いたしました。さらに、LINE株式会社との連携による新たな事業開発を進めています。

顧客数につきましては、新規顧客と休止顧客からの獲得数は前年同期並みであったものの、期首の顧客数が前年を下回ってスタートしたことで、延べ顧客数は前年同期と比べて減少いたしました。

顧客の購入単価につきましては、高単価商品の購入比率が高まったことに加え、一人当たり購入点数が微増したことにより前年同期を上回りました。

これらの活動の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、18,331百万円（前年同期比9.3%減）となりました。返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は9,561百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

売上高を品目別にみますと、生活関連分野で「しあわせ生活プログラム」や「Couturier(クチュリエ)」の長期お届け型の商品や余暇関連商品が好調で前年同期を上回りましたが、生活関連分野全体では前年同期を下回りました。また、子供衣料品、婦人衣料品を含む服飾・服飾雑貨分野は前年同期を下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、ダイレクトメールに係る経費効率を改善させたことにより広告費は前年同期より減少いたしました。さらに、延べ顧客数が減少したこと、商品充足率の改善による別便配送数の減少により、総配送数が減少し、出荷関連費用は減少しました。その結果、販売費及び一般管理費は9,795百万円（前年同期比7.1%減）となり、営業損失は234百万円（前年同期は営業損失83百万円）となりました。

営業外損益では、為替差益等の営業外収益が83百万円となり、経常損失は150百万円（前年同期は経常利益156百万円）となりました。また、特別損失として中国子会社である芬理希夢（北京）商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司をそれぞれ解散・清算することを決議したことにより関係会社清算損60百万円を計上したこと、新基幹システム稼働に伴い一部のWeb関連システム等を除却したことによる固定資産除却損23百万円を計上したことで、税金等調整前四半期純損失は233百万円（前年同期は税金等調整前四半期純利益156百万円）となり、四半期純損失は201百万円（前年同期は四半期純利益69百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加、システム投資による無形固定資産の増加があったものの、現金及び現金同等物の減少、売掛金の減少等により前連結会計年度末と比べ871百万円減少し、39,922百万円となりました。

負債合計は、仕入債務の減少等により前連結会計年度末と比べ641百万円減少し、13,597百万円となりました。

純資産合計は、四半期純損失の計上及び剰余金の配当等により前連結会計年度末と比べ230百万円減少し、26,325百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて717百万円減少し、15,839百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は191百万円(前年同期は596百万円の減少)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上233百万円及び仕入債務の減少788百万円があった一方で、減価償却費の計上554百万円及び売上債権の減少742百万円となったことによるものであります。

投資活動の結果減少した資金は868百万円(前年同期は2,226百万円の増加)となりました。これは主に基幹システムの改修を中心とした無形固定資産の取得による支出697百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は65百万円(前年同期比 56.5%減)となりました。これは主に配当金の支払による支出49百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 設備の状況

前連結会計年度末に計画中であった基幹システムの改修については、平成26年8月に完成しました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(6) 【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
矢崎 勝彦	京都市右京区	1,612	16.05
(有)樹福	京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12 - 35	1,000	9.95
(株)目神山事務所	兵庫県西宮市甲陽園目神山町31 - 125	803	7.99
宮脇 恒	東京都目黒区	411	4.10
宮脇 繁	大阪府箕面市	391	3.90
矢崎 和彦	兵庫県西宮市	296	2.95
フェリシモ共創会	神戸市中央区浪花町59番地	285	2.84
子守 康範	神戸市垂水区	262	2.61
星 美佐	兵庫県西宮市	262	2.61
子守 康輝	大阪府豊中市	262	2.61
計	-	5,589	55.65

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 180,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,860,600	98,606	-
単元未満株式	普通株式 2,500	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	98,606	-

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町 59番地	180,400	-	180,400	1.79
計	-	180,400	-	180,400	1.79

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,549	16,703
売掛金	3,438	2,692
有価証券	750	-
信託受益権	1,595	1,942
商品	5,213	5,532
貯蔵品	120	97
未収還付法人税等	54	6
その他	864	800
貸倒引当金	64	60
流動資産合計	28,521	27,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,779	1,700
土地	3,984	3,984
その他(純額)	467	578
有形固定資産合計	6,231	6,263
無形固定資産		
ソフトウェア	1,548	4,338
その他	2,637	84
無形固定資産合計	4,186	4,422
投資その他の資産		
投資有価証券	58	167
長期預金	500	-
その他	1,299	1,356
貸倒引当金	2	1
投資その他の資産合計	1,855	1,521
固定資産合計	12,273	12,207
資産合計	40,794	39,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,067	2,191
支払信託	6,687	2,604
未払法人税等	-	19
販売促進引当金	298	315
その他の引当金	317	304
その他	1,979	1,956
流動負債合計	11,349	10,558
固定負債		
退職給付引当金	2,473	2,565
その他	416	473
固定負債合計	2,889	3,039
負債合計	14,238	13,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	20,368	20,117
自己株式	385	385
株主資本合計	26,693	26,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	7
繰延ヘッジ損益	5	4
為替換算調整勘定	144	129
その他の包括利益累計額合計	137	117
純資産合計	26,556	26,325
負債純資産合計	40,794	39,922

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3月 1日 至 平成25年 8月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 3月 1日 至 平成26年 8月31日)
売上高	20,204	18,331
売上原価	9,755	8,781
売上総利益	10,448	9,550
返品調整引当金戻入額	136	126
返品調整引当金繰入額	123	115
差引売上総利益	10,461	9,561
販売費及び一般管理費	1 10,544	1 9,795
営業損失 ()	83	234
営業外収益		
受取利息	9	7
為替差益	165	26
受取補償金	25	11
その他	40	38
営業外収益合計	240	83
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失 ()	156	150
特別損失		
固定資産除却損	-	2 23
関係会社清算損	-	3 60
特別損失合計	-	83
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	156	233
法人税、住民税及び事業税	130	3
法人税等調整額	43	35
法人税等合計	86	32
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	69	201
四半期純利益又は四半期純損失 ()	69	201

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	69	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	5
繰延ヘッジ損益	57	0
為替換算調整勘定	129	14
その他の包括利益合計	70	19
四半期包括利益	140	181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140	181
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	156	233
減価償却費	587	554
固定資産除却損	-	23
引当金の増減額(は減少)	106	92
受取利息及び受取配当金	9	7
売上債権の増減額(は増加)	264	742
たな卸資産の増減額(は増加)	443	298
仕入債務の増減額(は減少)	1,241	788
未払金の増減額(は減少)	97	163
その他	49	209
小計	432	130
利息及び配当金の受取額	16	11
法人税等の支払額	180	-
法人税等の還付額	-	50
営業活動によるキャッシュ・フロー	596	191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	911	2,249
定期預金の払戻による収入	3,311	1,524
有価証券の償還による収入	750	750
投資有価証券の取得による支出	-	100
有形固定資産の取得による支出	29	80
無形固定資産の取得による支出	894	697
その他	0	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,226	868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	3	16
配当金の支払額	147	49
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	65
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	25
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,591	717
現金及び現金同等物の期首残高	15,061	16,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,652	15,839

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
当座貸越極度額	1,000百万円	1,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	1,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託

四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形及び支払信託の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
支払手形	- 百万円	294百万円
支払信託	-	1,602

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
広告費	3,328百万円	2,913百万円
運送費	1,351	1,195
給与手当	1,811	1,836
賞与引当金繰入額	213	179
減価償却費	586	553

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

固定資産除却損の主なものは、ソフトウェアの除却損22百万円であります。

3. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

関係会社清算損は、連結子会社であります芬理希夢(北京)商貿有限公司及び北京幸福生活貿易有限公司の清算に伴う損失額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

・現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	16,121百万円	16,703百万円
信託受益権勘定	2,108	1,942
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	1,577	2,806
現金及び現金同等物	16,652	15,839

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	147	15	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	49	5	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	7円08銭	20円41銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (百万円)	69	201
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(百万円)	69	201
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,863	9,863

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月14日

株 式 会 社 フ ェ リ シ モ
取 締 役 会 御 中

あ ら た 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 萩 森 正 彦
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。